



ドックMMC放送200回記念 小畑さんに聞く!

MMC卒後臨床研修センターが設立されてもうすぐ丸4年を迎えます。設立当初の2004年(平成16年)7月5日から放送を開始したFMラジオ番組『ドックMMC～50cmの信頼～』(毎週水曜17:55～FM三重にて放送中)は、先日の4月30日放送分で記念すべき200回目の放送となりました。現在収録済の203回までの間にご協力いただいた先生方の人数は、研修医・指導医・学生を合わせて150名を数え、また2006年9月には特別番組も制作するなど多くの方々に支えられて今日を迎えております。今回は放送200回を記念して、番組開始当初からパーソナリティーを務めていただいている小畑美奈子さんにこれまでの感想とメッセージを伺いました。

Q1. 200回を振り返っての感想をお願いします。

A. あっというまの4年間でした。いつの間にか、三重県の研修医の先生の登竜門(?)となった番組ですが、本当にたくさんの先生方にお話を伺って、みなさんの本音を聞かせていただけて楽しかったです。夢に向かってがんばっている皆さんからいっぱいパワーをもらったような気がします。このまま、300回、500回と長寿番組にしていきたいですね。

Q2. 記憶に残る研修医は?

A. 強烈な個性をお持ちの先生も何人かいらっしゃいましたが、やはり研修生活のエピソード。印象深い出来事は?と伺うと、ほとんどの先生が「患者さんが元気になり、ありがとうってもらったとき」とお答えくださるんです。そのときの先生のうれしそうなかんだ表情がとても印象に残っています。

Q3. 収録時に心がけていることはありますか?

A. ラジオ初出演!ということで、スタジオの雰囲気などに緊張気味の先生もたくさん。何より収録を楽しんでもらえるように、雰囲気づくりを大切にしています。時にはわざと私が間違えて場を和ませたり... (もちろん、わざとですよ! (笑))

Q4. もし自分が研修医だったら一番に何をしてみたいですか?

A. もちろん、「ドックMMC出演!!!」(笑) パーソナリティ泣かせなトークをしたいです!!!

Q5. 番組開始当初と最近とで出演される方に違いは感じますか?

A. 単純に4年もやらせていただいていると、だんだんゲストの先生方と私との年齢差も広がってきているんですが、基本的には変わらないですよ。熱い気持ちは皆さん同じですね。

Q6. 趣味・特技は?

A. 写真を撮ることが好きです!といっても、まったくの素人でデジカメで散歩がてらそこら辺の風景をパチリとやるだけですが、人とは違うマニアックな視点にこだわりを持っています。そのほか、茶道を習ったり、フルートを習ったり、いろいろやっていますが、どれも特技とまではいきません。

Q7. 子どものころの夢は何でしたか?

A. 実は...、1番アナウンサー、2番女医さんでした。もしかしたら、出演者になっていたかも!?

Q8. 地元三重の好きなところはどこですか?

のどかなところ。のんびり屋の私にはぴったりです。

最後に一言

研修医の皆さん! 研修生活を送っている今の率直な気持ちをぜひ教えてください。気楽に遊びに来ていただけたらうれしいです。スタジオでお会いしましょう!



MMC 輸液セミナー開催中

今年度で5年目となる「輸液セミナー」を例年通り四日市・松阪の各会場で開催しております。毎年たくさんの先生方や薬剤師の方にご参加いただき大変ありがたく、感謝しております。

参加者数一覧			
開催日	医師	その他	合計
4月9日	42	15	57
4月16日	29	13	42
4月23日	40	12	52
合計	111	40	

■ は四日市会場
■ は松阪会場



情報コーナー

☆MMC輸液セミナー

今年度の輸液セミナーも残すところ各会場1回ずつとなりました。お忙しいとは思いますが、ご興味のある方はぜひご参加ください。

北勢地区 5月15日(木) 19:30～

四日市都ホテル(近鉄四日市駅前)

Tel 0593-52-4131

中南勢地区 5月22日(木) 19:30～

松阪フレックスホテル(近鉄松阪北口)

Tel 0598-52-0800

内容: 病態別輸液管理

～肝疾患・腎疾患の輸液管理～

☆MMC合同試験会

〈日 時〉平成20年8月24日(日)

〈会 場〉三重大学看護学科

受験のお申し込みは各研修病院まで!!

☆ドックMMC出演者募集中!!

「ドックMMC宣言」してみませんか?!

本文でもご紹介しましたが、ラジオ番組『ドックMMC～50cmの信頼～』ではご出演くださる先生を随時募集しております。「こんな医師になりたい!」研修病院はココが素晴らしい!という思いを熱く語りませんか? 三重県内研修医の先生は勿論、指導医の先生のご出演もお待ちしております。ご希望の方は事務局までお気軽にご連絡ください。

ちょっと太り気味ドクターの ～スタンフォード旅行記～

第7回～Stanford Medical Center 1～

北米の医学部では、一部の例外を除いていわゆる「大学附属病院」がないと言われる。地域の「Teaching Hospital」で実践に即した教育が行われ、そのあたりが現在の日本のクリニカルワークショップのモデルとなっている。そして、その数少ない例外がスタンフォード大学病院である。広大なスタンフォード大学のキャンパスの北の端にあり、すぐ隣はスタンフォードショッピングセンター(実は、これもスタンフォード大のものである。)という巨大ショッピングセンターがある。病院のメインビルディングは1950年代後半の建物で決して新しい物ではなかったが、とても手入れが行き届いて古さを感じさせない。病棟の至る所には、絵や花が飾られており吹き抜けのメインアトリウムではミニコンサートなどが行われる。旧いながらもホスピタリティーにあふれていて、たどるとは少し変であるが、少し歴史あるゴルフ場のクラブハウスの様な風情である。そのホスピタリティーを最も感じたのが、ER、CCUといった場所に隣接する「CHAPEL」である。「CHAPEL」といってもキリスト教だけの物ではなく、ユダヤ教、イスラム教、僕の確認したところでは、仏教、神道など、10くらいはの神様?や、聖書などが並べられている。少し落ち着いた間接照明とクリーム色の壁紙に、木のいすと背もたれが並んでおり、心静かに家族や友人の無事を祈る場所が用意されていた。昨今のイラク情勢などからは、キリスト教対イスラムのような単純な図式で顕されてしまうが、米国の多民族性や懐の深さを感じると同時に、家族のケアも病院の大事な仕事であるとい、明確な目的意識を感じる施設であった。



一病院中庭に面する吹き抜けと天井



CHAPELに飾られた様々な宗教の神様→